

別表1 経営計画の体系図

【基本運営方針】

【運営方針】

【実施事業】

【会社が目指すべき方向】

【具体的実施策】

安定した水処理と継続的なコスト削減の追及

- 放流水質規制基準値の遵守による公共用水域の水質保全及び改善
放流先水域の生態系への影響を考慮し、豊饒な水環境の維持に寄与します。
- 設備・機器の計画的な点検、修繕、更新による施設の適正管理
予防保全的な考え方で施設の延命化を図るとともに、改築・改善に向けて積極的に提案をしていきます。
- 創意工夫による効果的、効率的な運転管理による管理コストの削減
現場の運転管理に関する調査研究を行い、現場に展開させることにより、管理コストの削減に努めます。
- 関係機関の連携による危機管理の強化
危機発生時においても関係機関との迅速な連携により、安定した水処理を行います。
- 行政機関への支援
下水道に関する課題について、会社のノウハウを活かし、問題の解決に寄与します。

- 流域下水道維持管理業務
- 業 汚泥処理
- 管 普及啓発施設
- 業 普及啓発
- 事 調査研究
- 研 研修事業
- 支 県市町
- 認 排水設備工事
- の 経営基盤

- 放流先水域の水質の維持
- 運転管理体制の強化
- 業務内容の見直しによる機能強化の推進
- 運転管理技術の確保と向上への取組
- 外部委託の活用
- 危機管理のための取組
- 施設延命化への取組
- 運転管理技術の調査研究
- 安定的な汚泥処理業務の推進
- 県との協働による今後の汚泥処理の検討
- 普及啓発活動の強化
- 施設見学者増への取組
- 啓発イベント、既存メニューの見直し
- 日常的な維持管理を行うための技術研究の実施
- インターンシップ研修生の受入れ
- 下水道関連職員研修
- 事業場排水の分析と指導補助
- 県発注建設工事の支援
- 排水設備の設計・施工管理を行う排水設備工事責任技術者認定事業の実施
- 技量の安定と人材確保
- 職員構成と組織運営

- 排水基準を遵守し、良好な放流水質を維持
- 組織の改編による連携強化と職責の明確化により、効率的な業務執行体制を構築
- 迅速な状況判断を可能とする水質試験項目への見直し 業務内容の精査
- 各処理場へ有資格者を配置 運転管理要領の整備 運転管理履歴の保管
- 外部委託の仕様や枠組みを検証し、活用
- 悪水流入及び不明水等による流入量増加時には、マニュアルに基づき、対応 県、市町、公社で情報を共有し、不明水等の原因究明調査を行うとともに対策を協議 下水道事業継続計画の策定
- 長寿命化計画策定へ積極的に参画 予防保全計画を策定し、計画的点検や修繕の実施 機器の運転時間の平準化
- 創意工夫による実験運転を継続的に実施 技術レポートを作成、発表
- 汚泥処理計画を策定し、協力業者と調整
- 三重県が下水道行政における中長期的な汚泥処理の検討を行っていく中で、汚泥発生量の予測等の技術的支援、汚泥の発生抑制、有効利用を県と協働で検討
- 場内展示物及び啓発物品、啓発方法の見直し
普及啓発施設の新たな利用価値を関係者と検討
- 年間見学者目標数、見学内容の設定 施設見学誘致活動の実施 見学対応体制の拡充
- 関係機関主催啓発イベントへの出展 見学メニューの企画・立案 地域の課題や実情に応じた啓発活動の実施
- 既存施設の稼働等を工夫した効率化運転の実施 技術レポートを作成し、発表
- インターンシップ研修の継続実施
- 下水道事業に従事する職員を対象とした現場研修会や運転説明会の実施
- 緊急時に、事業場排水の水質分析業務の受託及び計量証明書発行並びに事業場への指導補助を実施
- 県が発注する処理場及びポンプ場の建設工事が円滑に進むよう支援し、業務を補助
- 下水道排水設備工事責任技術者認定事業の継続実施
- 技術系正規職員の増員 計画的な職員採用 資格取得の奨励
- 正規職員の育成 職員定数の適正化、業務の効率化等により総人件費を抑制 財政的基盤の安定を図るため財務計画を策定し、個別の事業計画に反映